

工 事 情 報 【 浅 間 山 】

工事名 おおくぼさわかわさぼうえんていこうじ
R8大窪沢川砂防堰堤工事

工 期 令和8年6月4日～令和8年12月25日

受注者 株式会社新津組

工事場所 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉地先

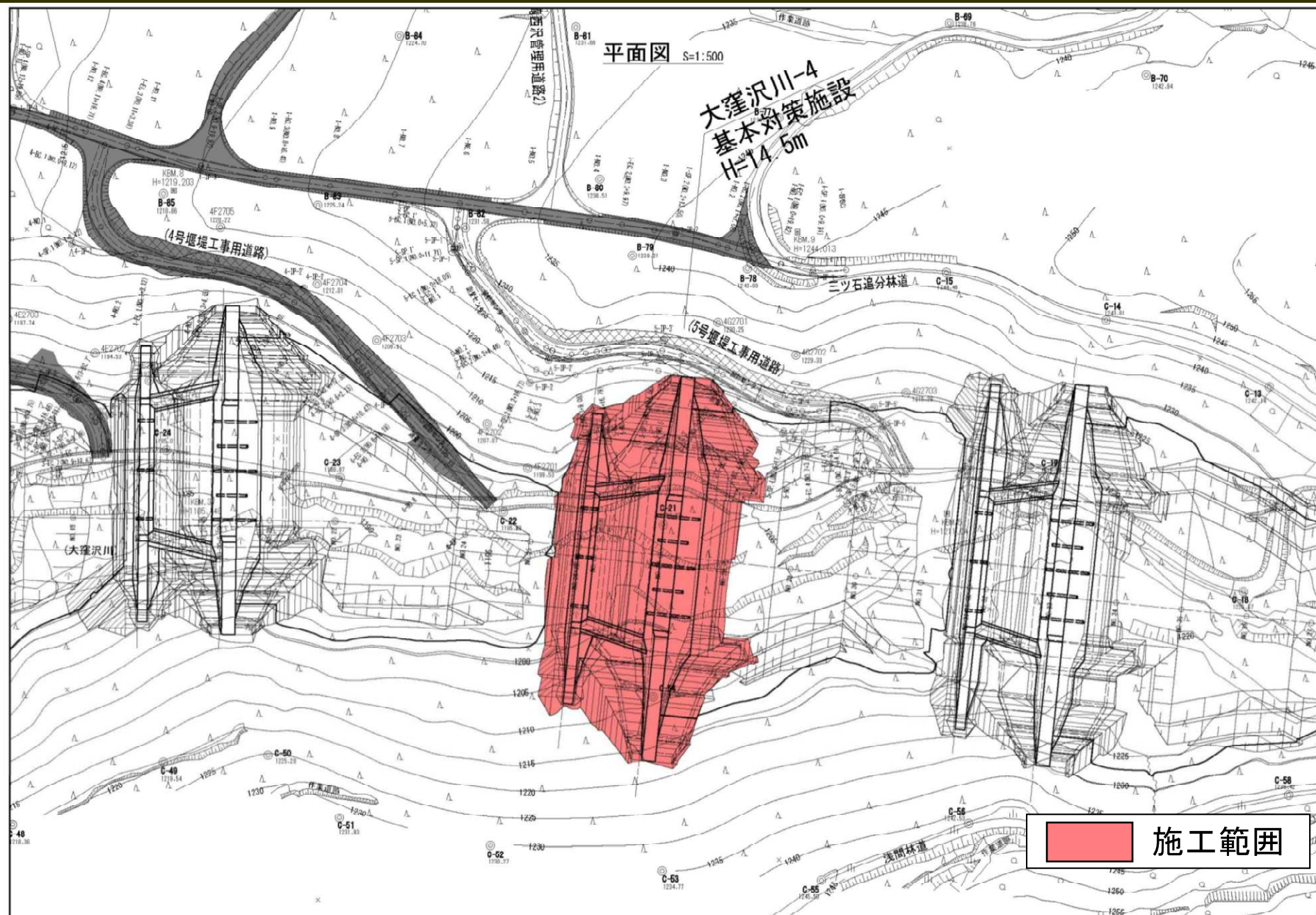
工事目的 浅間山の火山活動に伴い発生が予想される融雪型
火山泥流を軽減するために計画された直轄火山砂
防事業で、浅間南山麓大窪沢川に計画された大窪
沢川第四砂防堰堤の一部を施工するものである。

令和8年7月末 現在



出典：国土地理院発行2.5万分1地形図
地理院タイルに工事位置を追記して掲載

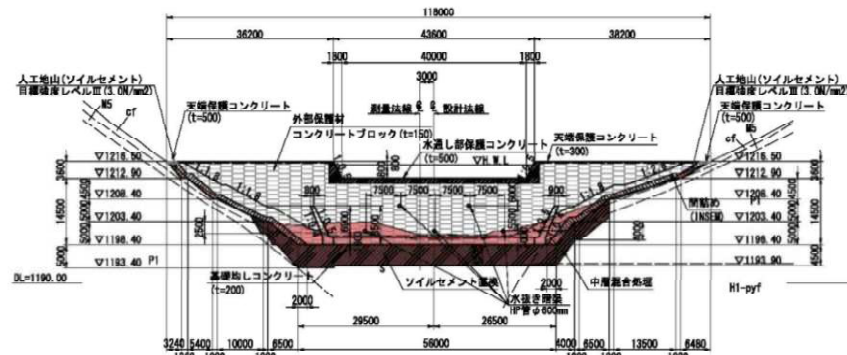
工事情報【浅間山】



一般構造図 S=1:500

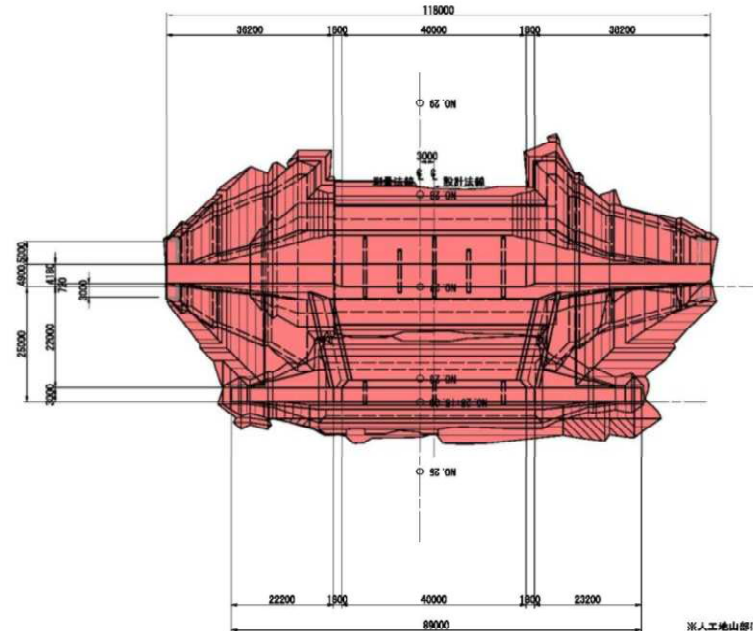
本堤正面図

No. 27
BH=1200.58



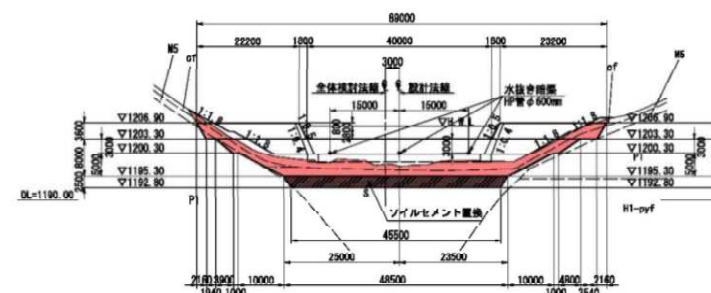
※人工地山部においては必要に応じて表土を覆削し、厚さ2.0m以上を確保すること。
また、旧地山部においては2.0m以上の厚さとし、地山部に張り付ける構造とすること。
※中層集合基礎断面については改良必要箇所を示している。

平面図

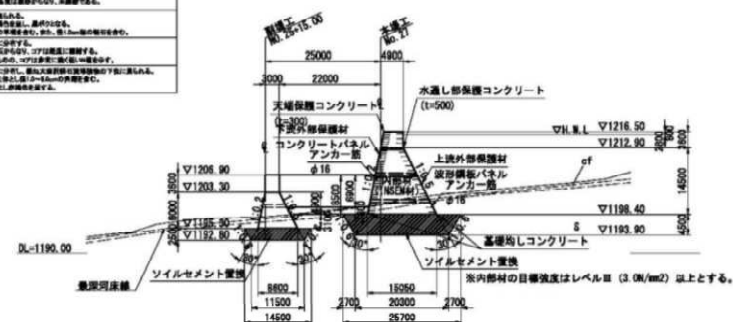


副堤正面図

No. 25+15.00
BH=1197.90



断面図



地盤構成表

地層区分	地層記号	特徴
農土	af	地層の上部にあり、厚さ約10~20cm程度を多く含む。
腐植土	ok	地層の上部にあり、厚さ約10~20cm程度を多く含む。
砂質土	Ms	地層の上部にあり、厚さ約10~20cm程度を多く含む。
砂質土	S	地層の上部にあり、厚さ約10~20cm程度を多く含む。
砂質土	Q	地層の上部にあり、厚さ約10~20cm程度を多く含む。
砂質土	Ks	地層の上部にあり、厚さ約10~20cm程度を多く含む。
砂質土	P1	地層の上部にあり、厚さ約10~20cm程度を多く含む。
砂質土	H1-pyf	地層の上部にあり、厚さ約10~20cm程度を多く含む。

施工範囲

※人工地山部においては必要に応じて表土を覆削し、厚さ2.0m以上を確保すること。
また、旧地山部においては2.0m以上の厚さとし、地山部に張り付ける構造とすること。

工事報告【浅間山】

令和8年7月31日 現在

上空（下流から上流）から望む



千ヶ滝西沢

大窪沢川

千ヶ滝西沢第二砂防堰堤

千ヶ滝西沢第一砂防堰堤

5号堰堤工事用道路

4号堰堤工事用道路

3号堰堤工事用道路

2号堰堤工事用道路

大窪沢川管理（工事）用道路

工事報告【浅間山】

令和8年7月31日 現在

上空（上流から下流）から望む

